

HDCPとは

ディスプレイや映像端末に対してHDMIやDVIなどを経由したデジタルコンテンツの送信を行う際のコピーガードに対応したリンクプロテクション技術です。近年、カーナビやディスプレイオーディオを始めとした車載端末、セットトップボックス（STB）や外付けチューナーなどのAV機器などにおいてもデジタルインターフェイスによる高画質な著作権保護コンテンツ伝送が主流となります。また、Wi-Fi Alliance®より制定されている無線LANディスプレイ技術Miracast™の実装にあたってはHDCPによるリンクプロテクション機能の搭載が課題となっていました。

Ubiquitous HDCPについて

Ubiquitous HDCPは、Miracast™対応機器の開発で課題となるHDCPの実装に最適化されたソフトウェア開発キット（SDK）です。組み込みシステム向けに最適化した、コンパクトなライブラリをターゲット環境（ハードウェアおよびOS）に依存せず、ご利用いただけます。暗復号処理をハードウェア処理にて行うための移植層を持つことで、処理負荷の大きい暗復号処理をオフロードすることができ、一方でハードウェア処理にて暗復号処理ができない場合においても、Ubiquitous独自の軽量かつ高速な暗復号ソフトウェアエンジンを利用することもできます。

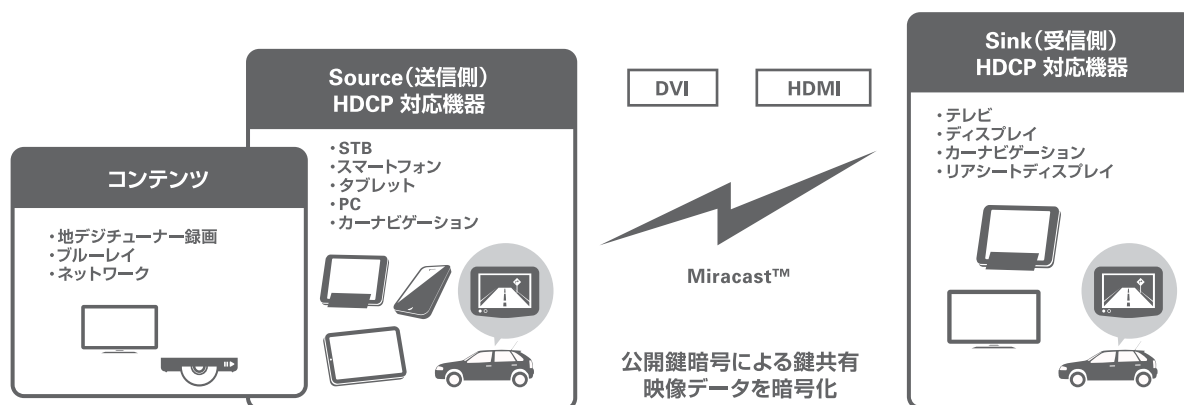
また、当社では、Ubiquitous HDCPと共に鍵等、秘匿情報の管理システムをご提案することで、リンクプロテクション技術をターゲット環境に実装する場合の総合的な技術サポートを提供しています。

Ubiquitous HDCPはHDCP ver 2.1に対応し、Miracast™のSink機器開発でご利用いただけます。

様々なハードウェア環境への移植、動作確認までを行っており、Miracast™の実装においてHDCPの利用をご検討の方に最適な製品です。

※ 本文に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

著作権保護コンテンツの不正コピー防止 デジタル信号の送受信経路（DVI,HDMI,Miracast™）の暗号化



仕様・提供形態

■HDCP ソフトウェア開発キット（SDK）

HDCP 2.0/2.1/2.2対応

サンプルコード（ソースコード）（C言語）

Ubiquitous HDCPライブラリ（オブジェクトコード）

取扱説明書

■仕様

対応OS:OS非依存 Linux（Kernel 2.6x.3.x以降）

■対応ハードウェア

・ルネサスエレクトロニクス株式会社 R-Car H1 / R-Car H2 / R-Car M2 / R-Mobile シリーズ

・各ARM Cortex-Aシリーズコア採用CPU

…etc

■Source/Sinkデバイスに適用可能

本カタログに記載の会社名、製品名は、各社の登録商標あるいは商標です。©Copyright 2015 Ubiquitous Corporation. All Rights Reserved.